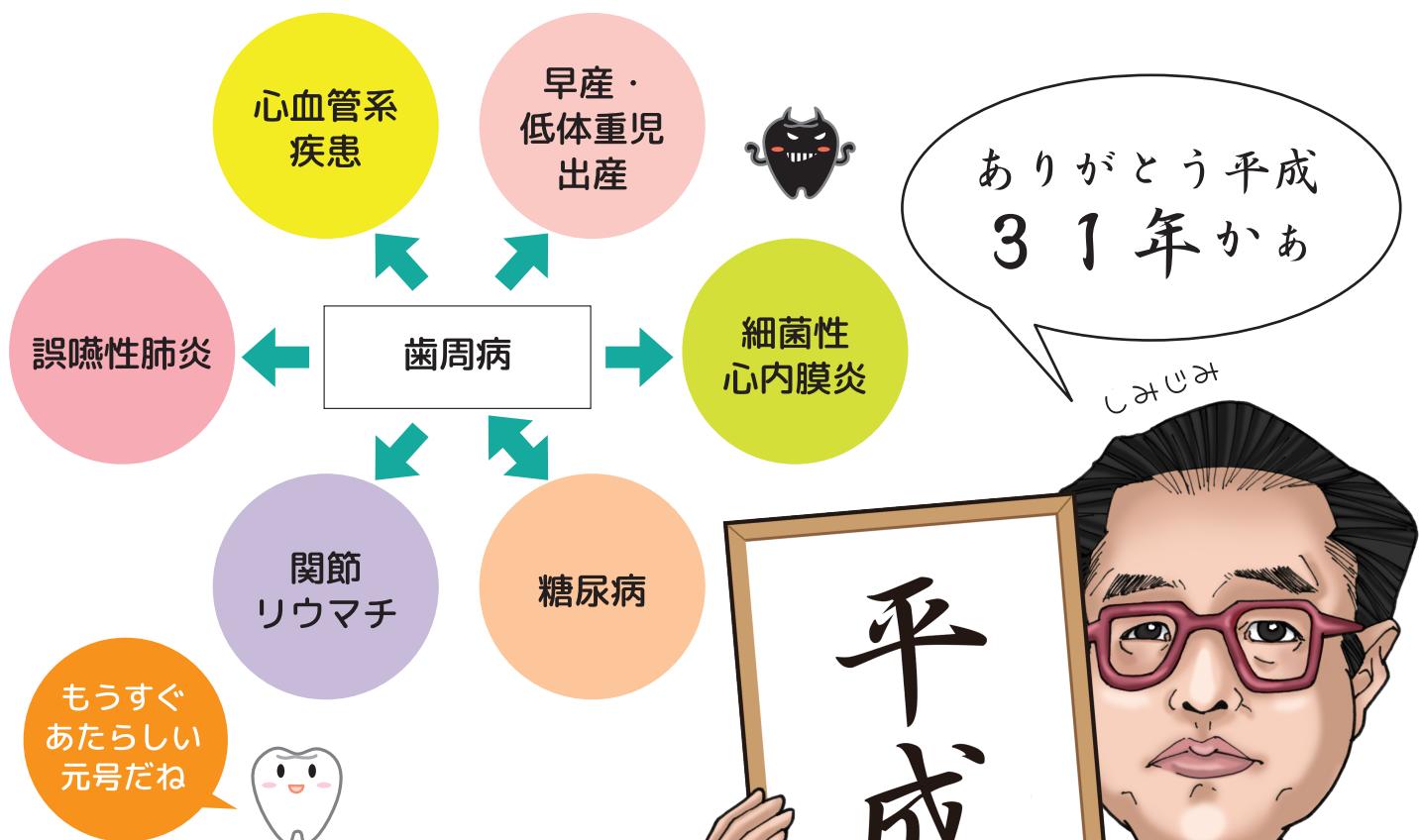




歯周病と全身疾患

歯周病は糖尿病、脳卒中、心臓病、高血圧などとともに生活習慣病といわれ、全身疾患との関係が従来から示されています。口腔内の細菌、歯周病細菌の内毒素や歯周病の局所で産生される炎症性サイトカインなどの炎症性物質が血流にのって全身をめぐり、結果として生じた慢性で微弱な炎症がさまざまな生活習慣病の病体形成に負の影響を与えます。

【歯周病に関連している全身疾患】



- ・生活習慣病：食生活、運動習慣、休養、喫煙、飲酒等の生活習慣がその発症・進行に関与する疾患群
- ・内毒素（エンドトキシン）：グラム陰性菌の菌体内に存在する毒素で、菌体が破壊されると放出される毒素である。毒素によりショック状態、発熱、出血などの症状が起こる
- ・サイトカイン：細胞から分泌される糖タンパク質で、他の細胞に情報を伝える働きがあり、多様な細胞応答を引き起こす生理活性物質とよばれる。炎症性サイトカインは炎症反応を促進する働きを持つ

